

大阪府ラグビーフットボール協会
理事長 尼田勝彦
普及育成委員長 南昌宏
スクール委員長 石川 悟

競技規則及び留意事項

《第42回大阪府ラグビーカーニバル 2018》

・本大会は平成27年度日本協会制定のミニ・ラグビー競技規則に基づき行います。
なお平成29年8月1日より世界的試験実施ルールも含みながら行います。(注※印)
ただし開示後間もない事もありレフリースタイルはプレイヤーを指導しながら習熟度に合わせて試合を進行してください。また世界的試験実施ルールは適時改訂されていく場合もあります。
また安全第一の視点から大阪協会普及育成委員会からジュニア向けに配布しております。「安全なプレーをするための、ジュニア・ラグビーレフリングの指針」も適応していきます。(注◎印)

1. 本大会特別規則

- 試合時間は高学年が12分ハーフ・中低学年が10分ハーフで行ない、ハーフタイムは2分とします。
- 移動時間は3～4分のため、試合終了後の相手チームベンチへの挨拶は無しとし、速やかに退場してください。
- 試合時間の関係上、ゴールキックは行ないません。(中・高学年)
- その他、27年度ミニ・ラグビー競技規則記載の各、注意事項に従い競技を行ないます。
- 細部については**当日8時40分より**代表者打ち合わせを行い調整します。
全スクール参加してください。
また、当日**5・6年のレフリースタイル**(大阪府ラグビーフットボール協会ミニラグビーレフリースタイル認定者)をされる方全員についても、**レフリースタイルの上(ジャージ・パンツ共白色、ストッキングはチームカラー)**集合してください。
ARにつきましても、レフリースタイルと同様のスタイルをお願いいたします。
- 代表者会議はグラウンド南側の入退場口付近にて行います。
女子エキシビジョンマッチは12:30および15:30より行います。各チーム事情もあろうかと存じますが、代表者会議にて参加の有無を確認させていただきます。

2. 競技上の注意

- 幼年～4年生のレフリースタイルについてもスタイルについては、5～6年のレフリースタイルと同じです。
 - ARのスタイルについては、レフリースタイルに準じる。有料ゲーム等のARスタイルを参考にしてください。幼児・1年・2年の試合でグラウンドに入るコーチもARと同等のスタイルにてお願いします。
 - ARの指導員はレフリースタイルを助け、**アシスタント・レフリースタイルに専念**してください。
 - 各チームキャプテンは、一つ前の試合のハーフタイムに本部に集合し、担当レフリースタイルを交えて予めトスを済ませておいてください。
 - 選手交代はハーフタイム時も含めて、必ずレフリースタイルの了解を得て、交代してください。
 - 選手はもちろんのこと、指導員のスパイクもゴムの固定式です。
 - **ウォーミングアップについては、次の試合チームのみとし、グラウンド北側エリアにて行ってください。あくまでもウォーミングアップのみで練習場所ではありません。**
 - グラウンド内での給水は**水のみとし、スポーツドリンク等は禁止**します。
- ※ AR: アシスタント・レフリースタイル

3. 安全対策に関して

- 各スクールとも保険加入された上でご参加ください。大会中に発生した負傷については、応急処置の外は責めを負いません。
- 新型インフルエンザと診断もしくは認められる選手は、各スクールの責任において出場辞退など行ってください。

4. 観戦上の厳重注意

- 試合当該チームの選手・監督・コーチ・メディカルの3名（幼年～2年生はもう1名）以外は必ずグラウンド外で応援（写真撮影・ビデオ撮影）してください。（メディカルはコーチではありません。メディカルに専念してください。）
- 観戦中に出したごみは、個人で必ずお持ち帰りください。**各スクールのごみ責任者が担当グラウンドで、来場者にゴミ持ち帰りの啓発を行ってください。また、事前にスクール保護者にも徹底をお願いいたします。**

5. ご来場及び開場に関して

- お車で来場される場合は舞洲エリアP5, P10及びその横の天然芝練習場南側をご利用ください。グラウンド脇P4駐車場は、役員専用となります。駐車場には限りがありますのでできるだけ乗り合わせおよび公共交通機関（大阪市営バス81系統、舞洲アクティブバス2系統ほか）をご利用ください。

6. 受付

- 当日の受付は、8:30よりグラウンド南側の入退場口付近で行います。入場後速やかに、代表者打ち合わせ後までに済ませるようにしてください。

7. 「中止」の場合

- 荒天による中止の場合は、**午前7時頃**に大阪府ラグビー協会ホームページにて連絡いたします。

8. 本大会留意事項

キック

- ・ 幼～2年は、プレーを開始及び再開するためのタップキック以外のキックは禁止であり、これに反した場合はキックが行われた地点で相手にスクラムが与えられる。
- ・ 3～6年は、ボールを手で保持した状況から以外のキック（地上にあるボールを蹴るようなキック）は禁止であり、これに反した場合はキックが行われた地点で相手にスクラムが与えられる。プレー中、ダイレクトタッチは10メートルライン内からのみ許される。しかし「フライキック」と言われるものは、いかなる地域でも違法である。そのようなキックが行われた場合、キックが行われた地点で相手にペナルティキックが与えられる。（「フライキック」とは、見境のないコントロールされないキックと定義される）
- ・ ※ラック内にあるボールを蹴り出してはならない。自陣に向けて後ろ向きにかくことのみ許される。（注※）

ゴールキック

- ・ トライ後のゴールキックは行わない。

ファールプレイ及びペナルティ

- ・ 防御の際に、相手をしっかりとバインドせずに振り回すプレー、ボールを持っているプレーヤーをチャージしたり、突き倒したり、あるいはタッチラインの外に突き出したりするプレー、フェンドオフ（腕を横に振り、相手を払い除けるようなプレー）はいずれも危険な行為であり、ファールプレイである。頭から相手に当たる様な行為、相手に怪我をさせるような行為や◎頭が下がっていたり安全な姿勢を保てずボールを取りにいたり密集に飛び込むプレーも危険な行為である。（注◎）すべてのペナルティにおいて、反則を犯さなかった側はタップキックによってプレーを再開する。その際、相手側は反則のあった地点からゴールラインに平行して少なくとも5メートル下がるか、反則があった地点がゴールラインにから5メートルない場合は、ゴールラインまで下がらなくてはならない。フリーキックも同様である。なおペナルティキックあるいはフリーキックにおいてタップキックするプレーヤーはボールを明確に蹴らなくてはならない。

タックル

- ・ タックルしたプレーヤーはすぐに相手を離し転退する。
- ・ タックルされたプレーヤーはすぐにパスするか、ボールを手放す。
- ・ アライビングプレーヤーは、倒れているプレーヤーの後方からボールに向かって立ってプレーする。ボールの位置から離れたスweepや頭が下がる突っ込み、ブリッジング、また、ボール

の前で立ちはだかるオブストラクションはすべて PK である。

- ・ 脇から上のタックルはすべてハイタックルである。襟を持つことも危険なタックルであり、また、相手をつかまず突き倒すプレーや頭突き、相手を掴んで振り回す行為はタックルではなく、危険なプレーである。このようなプレーには厳しく対処し、退場やシン・ビンもありうる。
- ・ ◎タックルされたプレーヤー、地面に倒れたプレーヤーが、身体と地面の間にボールを確保し、脚の間からボールを後方に押し出すプレー（スクイーズボール）は、どのような状況であろうと危険なプレーとして PK をとる。（注◎19 歳未満に適用）

モール

- ・ 横あるいは後ろに動いている場合も停滞している状態である。5 秒間停止した時、一旦停止したあと 2 度目の押しが止まった時、レフリーの指示に従い、すみやかにボールを出す。

ラック

※ラックは少なくとも一人のプレイヤーが両足で地面にある（または、タックルされたプレイヤーの上、タックラーの上にある）ボールをまたがって立つ事で開始される。

この時点でオフサイドラインが形成される。両足で立ったプレイヤーは、すぐに行く限り、ボールを拾う事が許される。ただし敵のプレイヤーが到着した瞬間、手の使用はできなくなる。

（注※）

◎ボールキャリアが倒れてボールが停滞すれば、安全のために即時にプレーを止める。（注◎）

※ラック内にボールがありコントロールしている場合はラックは終了していません。（注※）

- ・ ラックが成立すればボールを手で扱うことはできない。また、ハーフそれにかわるプレイヤーがボールに触れば、ラックは終了である。

その他

- ・ ジャージがはだけたり、ストッキングがずり落ちた状態でプレーしない。
- ・ ドレスチェックは行なわないので、各チームでスタイル、爪等をチェックすること。
- ・ ゲーム中は、レフリーから様々な指示の声がかかるのでその声に従う。

（参考資料）

☆19 歳未満 国内高専・高校以下用 競技規則 2017

☆U-15 ジュニアラグビー競技規則 2015

☆U-15 ジュニアラグビー安全基準（2012.4.1）

☆U-12 ミニラグビー競技規則 2015

☆世界的試験実施ルール（2017 年 9 月現在）

☆「安全なプレーをするための、ジュニア・ラグビーレフリングの指針（2016 年度追加）
大阪府ラグビーフットボール協会 普及育成委員会作成

9. 問い合わせ

普及育成委員会スクール委員長 石川 悟 090-5122-3270

fukyu-ishikawa@rugby-osaka.org

（緊急でない場合は、できるだけメールでの対応をお願いいたします）

以上